

女性のための支援者養成事業【静岡市】

総事業費	1, 592 千円
交付金額	1, 194 千円

地域の実情と課題

- ・DVなど深刻な問題を抱える女性の相談が増加しており、支援機関との連携が課題である。
- ・相談内容が複雑化・多様化していることから、支援者の知識向上が求められている。
- ・市民意識調査(R3)では、DV経験者の42.9%が「誰にも相談しなかった」と回答しており、相談しやすい環境や身近な支援者の養成が課題である。

目的・目標

様々な課題・困難・不安を抱える女性への支援体制を充実させ、「誰一人取り残さない」社会づくりに取り組む。

- ・目標:プログラム開催回数 実績:5回 目標:5回(達成)
- ・目標:養成プログラム受講後に支援者となる人の割合
実績:集計中 目標:20%

事業の特徴

- 1 支援者養成プログラム の実施
支援者として活動している方を対象に、令和4年度の講座で盛り込むことができなかったテーマ(DV被害者の実情、非正規雇用シングル女性の課題など)を含む全5回の講座を実施。
- 2 地域コミュニティの中での支援者の拡充
地域コミュニティの中で女性特有の困難さを理解する支援者を増やすため、出前型の講座を民生委員児童委員協議会や地域包括支援センター、看護学生等に対して実施。

連携団体

静岡市女性会館、県内中部地域で同じく女性相談事業を行っている自治体等

事業の効果

- 1 支援者養成プログラム
全5回の講座で、4回以上受講した人:26人(講座定員30人)
- 2 地域コミュニティの中での支援者の拡充
民生・児童委員協議会や看護専門学校にジェンダー問題理解に向けた出前講座を実施、4回の講座実施で約500人の参加があった。
平均理解度:96%
また、今後の相談や支援の際に役立ててもらおう、令和4年度に作成した支援者向けハンドブックを上記養成講座や出前講座において配布している。

今後の課題

- ・令和4年度、令和5年度と養成プログラムを実施する中、支援者同士の横のつながりや、子どもや高齢者支援といった他の制度とのつながりが支援の現場において必要であることが再認識された。
- ・令和6年度は支援者同士、また様々な社会資源と顔の見えるつながりができるような交流会を開催する予定

様々な困難を抱える女性のための支援者養成事業

1 支援者養成プログラム

女性に関わる支援者として活動している方を主な対象者として、支援に関する知識向上やスキルアップのため、DV加害者の実情、非正規雇用シングル女性の課題、グリーフケア等について、全5回の講座を実施。

2 地域コミュニティの中での支援者の拡充

民生・児童委員協議会や看護専門学校において、ジェンダー問題が根底にある女性の困難さ理解に向けた出前講座を実施

また、今後の相談や支援の際に役立ててもらおう、令和4年度に作成した支援者向けハンドブック(※)を上記養成講座や出前講座において配布



※令和4年度作成の支援者向けガイドブック
(女性が直面しやすい様々な困難についての解説
やそれらに関する支援窓口を掲載) ↓

